

<2010—2011年度>

第1回
キャビネット会議
提出案件

2010年7月26日（月）

東京プリンスホテル 2階「プロビデンス」

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区

第1回キャビネット会議提出案件

青少年育成・ライオンズクエスト委員会

委員長 L平岩 宏司

案件 1、ライオンズクエスト活動と周知への方策

(説明)

子供たち(中学生)の気になる状況

財団法人日本青少年研究所の 2008 年の調査で、「私は人並みの能力がある」という設問に「そう思う」と答えた中学生は日本が 13.0%、アメリカが 55.6%、中国が 49.4%です。一方、「自分はダメな人間だと思う」という設問で「そう思う」と答えた中学生は、日本では 20.8%、米国では 4.7%、中国では 3.4%です。高校生も同様の状況です。また、「親は私を大切にしてくれる」という設問に「全くそう」と答えた中学生が日本では 35.6%、アメリカでは 81.2%、中国では 81.5%となっています。「親は、私の学校での生活を知っている」という設問では、「全くそう」と答えた中学生が日本では 15.5%、アメリカが 36.6%、中国が 28.2%で、大きな違いがあります。

また、不登校の問題についても、残念ながら平成 20 年度も、中学校の不登校の出現率は 3.15%です。平成 4 年ころには、不登校は 0.5%でした。平成に入って子供たちをめぐる状況が大きく変わってきました。不登校問題はその象徴的なもので、見逃すことはできません。

この調査からも日本の中学生の‘自信’の無さが見受けられますと共に最近増え続ける‘少年犯罪’、‘いじめ’‘自殺’等に対処すべく、ライフスキル教育普及事業が必要と思います。現在学力低下による、ゆとり教育が見直される中、もし教師の時間的制限が許されるならば、是非中学教師を対象にした公募型‘ライオンズクエスト’の参加を求めたい。

案件 2、 地区の各クラブが継続的に行っている青少年健全育成事業の連携
(説明)

330-A地区の多くのクラブがクラブ単独又はゾーン単位で青少年健全育成事業を行っておりますが、特に地域に密着したあらゆる事業にキャビネットからも応援したいと思います。

各クラブにアンケートを御願いし、その事業報告事項を参考にもとに、今年度各クラブが行う継続事業を中心に連帯の方向にもって行きたいと思います。

案件 3、地区内の視覚障害者の児童、生徒を対象にした、作文コンクールの開催企画

(説明)

今期 国際会長シドニー・L・スクラッグスⅢLの提案でもある、視覚障害があるとみなされる、11歳、12歳、13歳（2010年11月15日現在）の作文を募集します。

テーマは「平和が生み出す力」で、英文で500ワード以内にまとめ、キャビネット事務局に提出は2011年2月15日が期限です。(詳細は別紙参照)。尚点字から英文への翻訳は各施設、学校でお願いしたい。



ライオンズ国際作文コンテスト

コンテストの規定：

コンテストには、それぞれの国で設けられているガイドラインにより視覚障害があるとみなされており、かつ11月15日の時点で11歳、12歳、あるいは13歳の生徒が応募できます。

ライオンズクラブだけがコンテストをスポンサーすることができます。地元の学校または後援されて組織されている青少年グループでのコンテストをスポンサーすることができるほか、個人をスポンサーすることも可能です。ライオネスクラブも、スポンサー・ライオンズクラブを通してコンテストをスポンサーできます。

コンテストのテーマは「平和が生み出す力」です。

作文は、英語で500語以内にまとめられており、ダブルスペースで黒のインクを使ってタイプされていることが条件です。

作文1点につき、必要事項がもれなく記入された応募用紙が1枚提出されなければなりません。必要事項がもれなく記入された応募用紙を伴わないで提出された作文は、失格となります。

生徒一人につき1点だけ提出できます。また、生徒が単独で執筆した作文でなければなりません。

すでに発表済みの作文を提出することはできません。

盗作であることが判明した作文はいかなるものも失格となり、その生徒に対してはライオンズによる将来のコンテスト等への参加が一切禁止されます。

大賞受賞者1名に賞と5,000ドルの賞金が授与されます。受賞者への通知は6月1日に行われます。

クラブが選んだ作文1点を地区ガバナーに送付する期限は、2月15日（消印有効）です。注：コンテストに参加するクラブは、応募作品を送付するにあたってあらかじめ地区ガバナーに連絡することが重要です。

地区に所属しないクラブは、応募作品を直接ライオンズクラブ国際本部の広報課に送らなければなりません。（3月1日以前の消印があること）

地区が選んだ作文1点を複合地区協議会議長に送付する期限は、3月1日（消印有効）です。複合地区に属さない地区は、応募作品を直接ライオンズクラブ国際本部の広報課に送らなければなりません。（3月1日以前の消印があること）複合地区が選んだ作文1点をライオンズクラブ国際本部の広報課に送付する期限は、3月15日（消印有効）です。

コンテスト応募作品の郵送先は次のとおりです。
Essay Contest, Public Relations Department,
Lions Clubs International, 300 W. 22nd
Street, Oak Brook, IL 60523-8842, U.S.A.
作文および必要事項がもれなく記入された応募用紙は、ライオンズクラブ国際本部にファックス（630-571-1685）、またはEメール（pr@lionsclubs.org 《Eメールの件名欄に必ず「Lions Essay Contest」と記入のこと》）で送信することもできます。

参加者は、作品の配送遅延、紛失、誤送、書類判読不可などに対する一切の責任を負います。郵送料不足で送付された作品は失格となります。作品の受領は確認されません。また、作品は返却されません。作品はライオンズクラブ国際協会の所有物となります。作文は、ライオンズクラブ国際協会から書面による許可を得ずに公開することはできません。ただし、スポンサー・クラブ、地区、複合地区は、自分たちがスポンサーした作文を公開することができます。

ライオンズ国際作文コンテスト応募の機会の対価として、参加者は、自分の氏名、写真、ならびに作文がライオンズクラブ国際協会の振興および広報の目的で使用されることに同意します。国際大賞受賞者には、ライオンズクラブ国際協会がスポンサーする今後のライオンズ国際作文コンテストで賞を受ける資格はなくなります。応募することにより参加者は、これらの規定ならびに審査員およびライオンズクラブ国際協会の決断に従うことに同意します。

ライオンズクラブ国際協会は、いつでも通告なしにコンテストを取りやめることができます。コンテストは、禁止されたり、課税されたり、法律で制限されているところでは無効です。

Y E 委員会委員長

L. 三宅泰雄

案件：Y E 協賛金

下記活動方針・内容及び予算案をご承認頂いた上で、全クラブに対し、1メンバー
当たり¥1,000以上の協賛金の拠出をお願いさせて頂き度き事。

(説明)

1. 活動方針及び内容

① 方針： Y E 活動内容は1961年に正式に発足した国際プログラムであるにも
拘わらず各クラブに必ずしも深くご理解頂いているとは限らない面が
有る為、更により広くご理解頂くべく PR 活動致し度。

② 主な活動内容：

10年	9月4日	各クラブ Y E 委員長会開催
12月		冬期派遣派遣/来日生受け入れ 春・夏派遣生選考・決定
11年	2月	夏期派遣生オリエンテーション開始（6月迄）
	3月	春期派遣生派遣/来日生受け入れ及び スプリングキャンプ
	6月	第7回青少年英語スピーチコンテスト開催
	7月	夏期派遣生派遣/来日生受け入れ及び サマーキャンプ
	9月	夏期派遣生帰国報告会 Y E レポート作成

2. 予算案

費用

派遣生関連

派遣生諸費用	¥ 7 0 0, 0 0 0
オリエンテーション関連	¥ 5 0 0, 0 0 0
帰国報告会費用	¥ 1 0 0, 0 0 0
その他	¥ 2 0 0, 0 0 0
小計	¥ 1, 5 0 0, 0 0 0

来日生関連

冬期 ウェルカムパーティ	¥ 3 0 0, 0 0 0
春期 スプリングキャンプ	¥ 5 0 0, 0 0 0
夏期 サマーキャンプ	¥ 1, 2 0 0, 0 0 0
小計	¥ 2, 0 0 0, 0 0 0

その他共通

3 3 0 複合共通経費	¥ 5 0 0, 0 0 0
各クラブ YE 委員長会	¥ 4 0 0, 0 0 0
英語スピーチコンテスト	¥ 6 0 0, 0 0 0
YE レポート作成	¥ 4 0 0, 0 0 0
事務諸経費・予備費	¥ 1 0 0, 0 0 0
小計	¥ 2, 0 0 0, 0 0 0

費用 合 計

¥ 5, 0 0 0, 0 0 0

協賛金 各クラブ 1 メンバー ¥ 1, 0 0 0 ¥ 5, 0 0 0, 0 0 0

✍

第一回キャビネット会議提出案件

役職名 LCIF 委員会委員長
L 名 田倉 仁

案件 1 20\$献金の協力依頼について

(説明) 一メンバー20\$献金はLCIFの貴重な資金源です。クラブ並びにメンバーのご理解とご協力をお願いします。

LCIFの使命は人道主義的奉仕、大災害援助、職業技術訓練の各事業を通じて地域社会奉仕及び国際的社会奉仕に努める全世界のライオンズクラブを援助する事であります。

緊急援助交付金や一般援助交付金を始めとするLCIFの交付金申請は日本語の申請用紙でクラブ、地区などからの申請を行っています。

LCIFは2007年に米国フィナンシャル・タイムズと国連グローバルコンパクトの協力で実施した調査で第一位に選ばれ世界最高のNGOとして高い評価を獲得しています。

一人では少しのことしか出来ないけれど、力を合わせれば多くが可能になり高い評価を得る事が出来ます。

第 1 回 キャビネット会 議 提 出 案 件

役職名 難病対策支援特別委員会 委員長

L 名 L 村木 秀之

案件 1、「フォーラム&チャリティーコンサート」開催についてご協力のお願い
(説明)

私たちライオンズクラブのモットーは「We Serve (我々は奉仕する)」です。

この恵まれた現代社会においても、その陰には様々な難病に苦しんでおられる方々が
いらっしゃいます。

国の対策もなかなか手が届かないなか、これらの患者の方々やそれを支えるご家族の
方々に、少しでも多くの勇気と希望を持って頂けるようにと、河合ガバナーは

「難病対策支援特別委員会」をキャビネットに設けられました。

今期のアクティビティ・スローガンにあるように情熱と行動を持って奉仕の明かりを
社会に灯そうではありませんか。そう主役はあなたです。

リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、各委員会の皆様、複合地区の
役員の皆様 並びに 各ライオンズクラブのメンバーの皆様と「和でつなぐ奉仕の輪」
を実践しようではありませんか。

つきましては、2011 年 3 月 11 日 (金) に、池袋駅前の「東京芸術劇場 大ホール」
に於いて約 2000 名規模の「フォーラム&チャリティーコンサート」を開催致したく存じ
ます。趣旨ご理解をいただき、ご協力くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

また当日は、各委員会と連携し、時間差や会場外を利用して、活動のそれぞれを展示
願えればと思っております。例えば「献血車による献血活動、並びに骨髄移植ドナー
登録の推進」「薬物乱用防止教室の開催」「環境保全セミナーの開催」「救急救命講習会
の開催」「献眼・献腎活動の推進」それらに参加して頂くことによって培われる「指導
力・若手育成」や「女性参画」へのパワーなどなど。

また、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンにおかれましては、決し
てトップダウンではない、各クラブの積極的な自主的参加を促進すべくお骨折りを頂き
たくお願い申し上げます。

第 1 回キャビネット会議提出案件

2010 年 7 月 15 日

役職名 高齢者福祉委員会 委員長
L. 中迎 譲司

330-A 地区ガバナーより御提示された諮問事項に対し、委員会として下記の通り提案いたします。

ガバナー諮問事項

諮問事項並びに委員会活動の指針

- 1、高齢者福祉の現状と現在の動向の踏査
- 2、高齢者福祉施設と連携クラブの紹介並びに奨励について

提出案件

- 1、「330-A 地区奉仕月間」の活動について
各クラブ主体の継続アクティビティを 330-A 地区内一斉に行う事に対する各クラブへのサポート方法の検討。
「高齢者」を対象としたイベントを、ガバナー提案の「330-A 地区ライオンズ奉仕月間」に合わせ、老人ホームへの慰問活動を各クラブと連携して実施する。
又は、イベント会場を確保し各老人ホームの高齢者を対象としてご招待、心やすまる観劇など奉仕活動を実施したい。
- 2、2008～09年度 高齢者福祉委員会発行の ライオンズクラブシニアメンバーガイドブック「330-A 地区ライオンハート」の継続有効活用についての検討。

第 1 回 キャビネット会議提出案件

役職名 献血・骨髄移植推進委員会

L 名 渋谷 俊徳

案件 1、

「10月3日 献血・骨髄バンク支援アクティビティー」に対する
各クラブ御協力・御協賛の件

ライオンズ奉仕月間の先陣を切り、日赤・骨髄バンクの協力を得て、当委員会及び11R1Zのクラブ中心に新宿アルタスタジオ 1 階にてアクティビティーを行う予定でおります。

献血活動はライオンズ・クラブ発足以来、最大の奉仕活動として現在に至り、骨髄ドナー活動においても15年前の1995年宇田川ガバナー時以来、突極の献血活動とし献血と並行し、メイン・アクティビティーとして取り上げてまいりました。しかし、両活動も各クラブ温度差も生じ全く活動停止のクラブもあるのが現状で、よってここに再度両活動を再認識し、現状を把握すると共に10月3日の当アクティビティー、又、その他一年間の活動に対し、各クラブに下記の件、御協力・御協賛をお願いしたいと思います。

記

- ① 10月3日当日、献血・骨髄ドナー登録者の呼びかけ及び事前登録
- ② 10月3日当アクティビティーへのクラブ協賛（一口50,000円）
- ③ 10月以降、献血・ドナーカード使用による1年間のライオンズメンバーの御協力をお願い及び現状把握
- ④ 各クラブにて献血・骨髄移植推進への定期的な協力
 - ・例会・委員会時、講演会実施、又、学校・企業のご紹介
 - ・チャリティーイベントの際のご寄付のお願い
 - ・ボランティアベンダー設置の御協力

以上

よって今期テーマ「和でつなぐ奉仕の輪」に向け330-A全クラブに呼びかけて頂きたく、ここに議案を提出いたします。

献血・骨髄移植推進委員会

協力・協賛 申込書

① 事前登録者名（献血・骨髄ドナー共）

クラブ名	氏 名	協力区分		年 齢
		献血	骨髄	

② 協賛 一口 50,000円

口 数	金 額

クラブ名	R Z L.C.
会 長 名	L.

※ 9月20日迄 に FAX 03-3903-7516
堀越までお申し込みお願いいたします。

第1回キャビネット会議提出案件

役職名 環境保全委員会委員長

氏名 吉田宗一郎

審議事項

案件1 環境リーダー養成講座の開催

説明

環境リーダー養成講座を年1回の開催でお願いします。

内容をこれから検討していきたいので2月か5月に開催予定として下さい。

前期キャビネット会議で引き継ぎ事項として年2回の開催を提案して頂きまし

たが、環境保全委員会で検討した結果年1回の開催に決定しましたことを申し

添えいたします。

第 1 回 キャビネット会議 提出案件

役職名；組織連携・ライオンズカード委員会

L 名； 委員長 L 脇 村 孝 友

案件 1. 一般社団法人 330-A 地区支援会の決算報告書の提出の件

(説明) 330-A 地区は、2009 年 6 月 19 日に預託金 42,400,000 円を一般社団法人 330-A 地区支援会にしています。

よって、一般社団法人 330-A 地区支援会の第 6 期（2009 年 7 月 1 日～2010 年 6 月 30 日）の決算報告書を第 2 回キャビネット会議への提出を求めます。

案件 2. ライオンズカード加入の件

(説明) ガバナーよりの諮問に「ライオンズカード活用促進への具体策考案」となっておりますが、ライオンズカード加入者が少ないと、活用促進への具体策が出来ません。

出来れば、330-A 地区の今期のキャビネット役員全員の加入を希望します。

加入して使ってみて、他のクレジットカードと比較してその良さが分かります。

是非、ライオンズカードに加入を。

特にゴールドカードは、大変お徳です。

平成 22 年 4 月末日の還元金は、1,236,000 円 114 件（クラブ）でした。

6 月末日の会員数は、提携カード会員数 223 名、ビジネスカード（法人）146 名、

合計 369 名です。

7 月 15 日（木）（必着厳守）までに 330-A 地区キャビネット事務局宛、E メールもしくは F A X にてご提出をお願いいたします。

F a x : 0 3 - 5 3 3 0 - 3 3 7 0

E-mail : cab@lions330-a.org